

令和3年度 大阪府立布施高等学校全日制部会 第1回学校運営協議会 議事録

日 時：令和3年7月15日（木） 15:30～17:00

場 所：本校校長室

出席者：委員 久会長、川添副会長、大里委員、高谷委員、岡本委員、那須委員
事務局5名（校長、事務部長、教頭、首席2名）

1. 学校長挨拶
2. 会長挨拶
3. 副会長選出、委員紹介
副会長を委員互選により選出。
4. 報告
学校概要、進路状況報告。
教科書選定について選定経過等説明。
5. 協議
令和3年度学校経営計画について
（○質問、→回答、・提言等）

○防災教育における、地域連携について。

→地域の消防署に依頼して、指導や講話をしていただいている。

・東日本大震災の時には、地域の高校生・大学生が中心になって活躍した例もあった。ある地域では、「地域貢献クラブ」という部活動にしているところもある。参考にしてほしい。また地震・火災についての防災訓練はしているようだが、大雨・洪水についての防災計画も立てたほうがよい。

○来年度からの「観点別評価」についての取組状況は。

→「観点別学習状況の評価プロジェクトチーム」を立ち上げた。この夏休み中に実例集を基に話し合い、2学期以降はそれを各教科で試行する予定である。新しい内規についても議論していく。

・「これからの世の中はどう変わっていくのか」「それに応じて先生の教え方もどう変わっていくのか」といった事項を、まず先生方が理解しないといけない。知識だけを覚えて大学に入ってくる生徒も多いが、これからの試験においては、その知識がどのように身につけているのかを評価していく必要がある。

・中学校では昨年度より「3観点別評価」を行っている。年間の定期考査を1回減らし、単元毎の振り返りの評価にシフトしている。こういった情報を高等学校や小学校とも共有していくといいかもしれない。

○コース制にしてからよかった点、変えていくべき点はあるか。

→8年前よりコース制度（スタンダードコース、アドバンスコース）の2コース制をしいている。そこから進路実績は劇的に変わった。国公立のみならず関関同立に入る生徒の数が飛躍的に伸びたといえる。変えていくべき点としては、現在アドバンスコースで行っているような専門科目を普通科の学校では来年から設置できなくなるので、今までのようにアドバンスコースにより高度なカリキュラムを設置す

ることが不可能になる可能性がある。対応について検討中である。

○生徒1人1人にChrome bookを配布すると聞いているが、御校ではGoogle Classroomを活用しているか。

→ほかのアプリを用いて、生徒や保護者に情報発信をしている。本校でもGoogle Classroom等は活用するつもりである。

・中学校では既に1人1台タブレットを持ち、授業でタブレットを利用した生徒相互間の調べ学習なども行っている。

○ICTについて、府からChrome bookの活用の仕方について、指示はあるか。

→事例集があるので、現場でどのように使っていくのか工夫する必要がある。

・中学校は進んでいるところとそうでないところがある。地域によって差があるのが課題になってくる。

既に進んでいる学校や人がお互いに教えあう、皆で学びあうことが必要ではないか。

・ICT化が進むのは良いことだが、情報モラルもそれに伴いしっかり教えていかなければならない。タブレットなどの道具はあくまで道具であり、大事なものはそれをどうやって使用していくのかを教えることである。小中学校とも連携していくことを考えてもよい。また情報モラルについては、あるサイトで啓発用の動画アプリがあるので、それを利用されてはどうか。

・生徒の倫理観を育てるのは難しいが、しっかり教育してほしい。

○国際交流について

・コロナ禍で国際交流は難しいが、チャットアプリを利用して海外の生徒と会話ではなく文字ベースでやり取りをする方法もある。